



---

## 組織と個人の リスク予防管理

- 令和7年6月4日
- 於：中部大学 5011講義室

# 自己紹介

- 濱渕明寿（はまぶち あきひさ）
- 中部大学卒業（工業化学）
- オハイオ大学卒業（国際学、会計学）
- 商社のITコンサルティング子会社にてリスクとコンプライアンスを担当

---

## 講演中のコメントや 質問大歓迎！

- 遠慮なく、どんどん手を上げて  
マイクを受け取ってください。
- マイクに向かって、**ゆっくり、  
大きな声で**話してください。

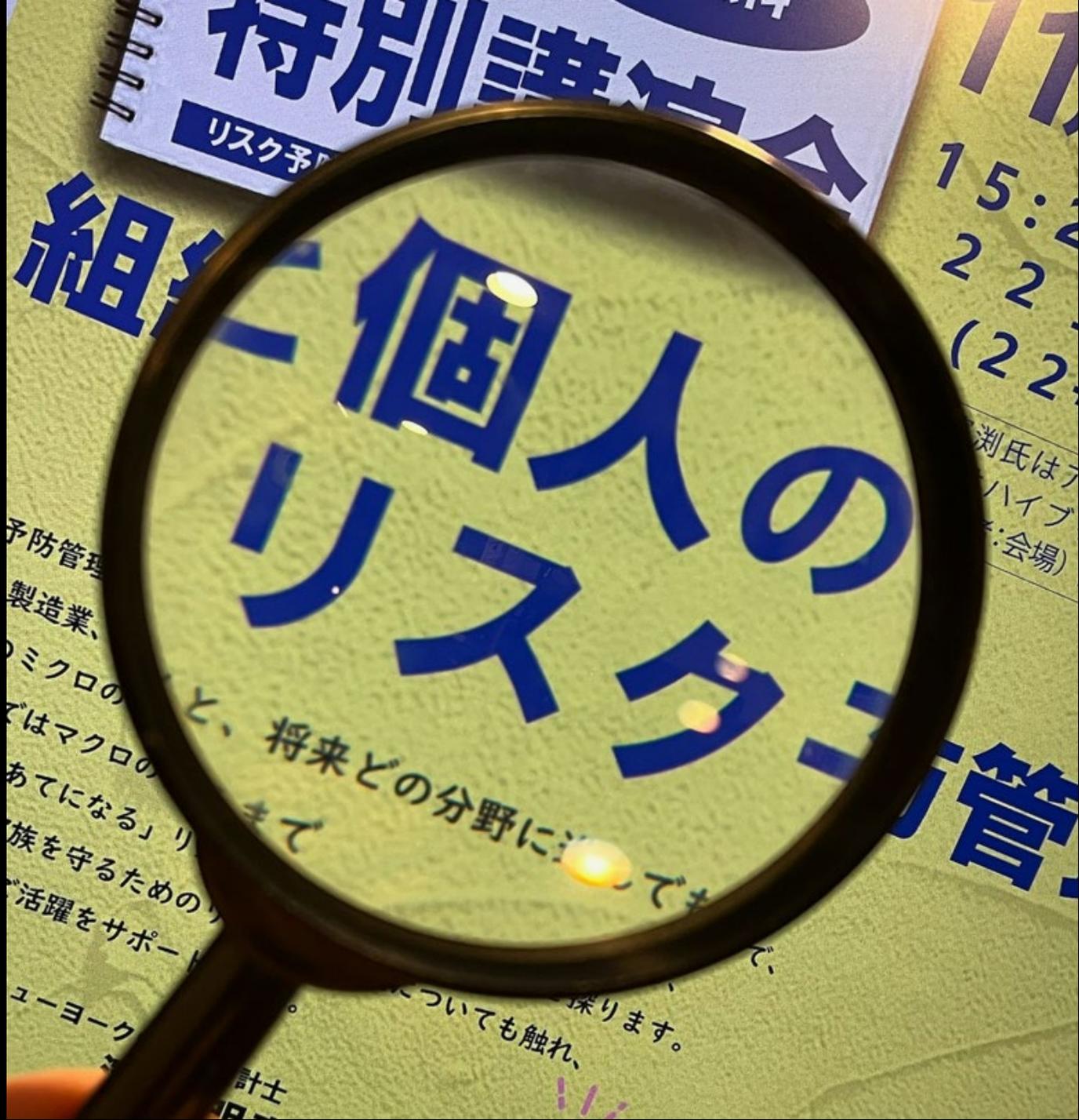


# 目次

1. マクロのリスクって何だろう？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう
6. 今日のまとめ

# 1. マクロのリスクって何だろう？

- ミクロのリスク管理とマクロのリスク管理
- 大きな眼でリスクを考えてみよう
- 身の回りにあるリスク：落とし穴探し
- 全体のリスク予防管理：これをやるとどうなるのか



身の回りにはあるリスクを見てみましょう

身の回りにおけるリスクを見てみましょう  
(～かもしれない、を考えましょう)



他にリスクはありませんか？  
棚卸を試してみましょう

# リスクの棚卸：目的や行動にはリスクがつきもの



# リスクの評価

どのリスクの**影響**が大きいですか？



自分の時間やお金（リソース）には限界があるので、全てのリスクを100%予防することはできない

=> 影響の大きさにより、リソースを使い分ける

# 影響の計算式

リスクに起因する不都合を数字に換算（定量化）して影響を比較

例 1) 起こりやすさ（確率） X 経済的・金銭的損失の度合

例 2) 起こりやすさ（確率） X 時間的損失の度合

例 3) 起こりやすさ（確率） X 自身の評価・成績の低下の度合

例 4) 起こりやすさ（確率） X 学校や会社の評判の低下の度合

例 5) 起こりやすさ（確率） X 心理的負担の度合

# 影響の計算式

例 1) 5千円の損失が発生する事故が一週間に20%の確率で起こる場合

$$\begin{aligned}\text{影響} &= \text{損失度合 (5千円以上: 3、千円~5千円: 2、千円以下: 1)} \times \text{週率} \\ &= 3 \times 20\% \\ &= 0.6\end{aligned}$$

例 5) 中程度の心理的負担のかかる事故が一週間に40%の確率で起こる場合

$$\begin{aligned}\text{影響} &= \text{負担度合 (大: 3、中: 2、小: 1)} \times \text{週率} \\ &= 2 \times 40\% \\ &= 0.8\end{aligned}$$

これで影響の比較が可能になりました。 例1の影響 < 例5の影響

# リスクの評価 どのリスクの**影響**が大きいですか？



リスクの**影響**を大きさで色分け（ヒートマップ作製）

リスクの  
影響 大

リスクの  
影響 中

リスクの  
影響 小

# ヒートマップによる優先順位付け



影響大 = > 最重要：代替目覚まし手段確保と定期券、現金用意

影響中 = > 重要：代替通学手段確保と毎日の予習・復習

影響小 = > 留意：余裕をもってバイト先に移動

リスクの  
影響 大

リスクの  
影響 中

リスクの  
影響 小

# 全体のリスク予防管理

## 目的や行動



## リスクの影響の大きさと対処の優先順位をヒートマップで可視化



## リソースを効率的に使って対処



# 全体のリスク予防管理をすると、、、

小さな（ミクロ）のリスクを単発で管理するだけではなく、全体（マクロ）のリスクを洗い出し、影響を数値化（定量化）して優先順位を可視化し、限られた資源（リソース）を影響の大小にあわせて効率的に使用することで、全体（マクロ）のリスクを総合的に予防管理でき、「万一」が起きた時の不都合を小さくすることが可能になります。

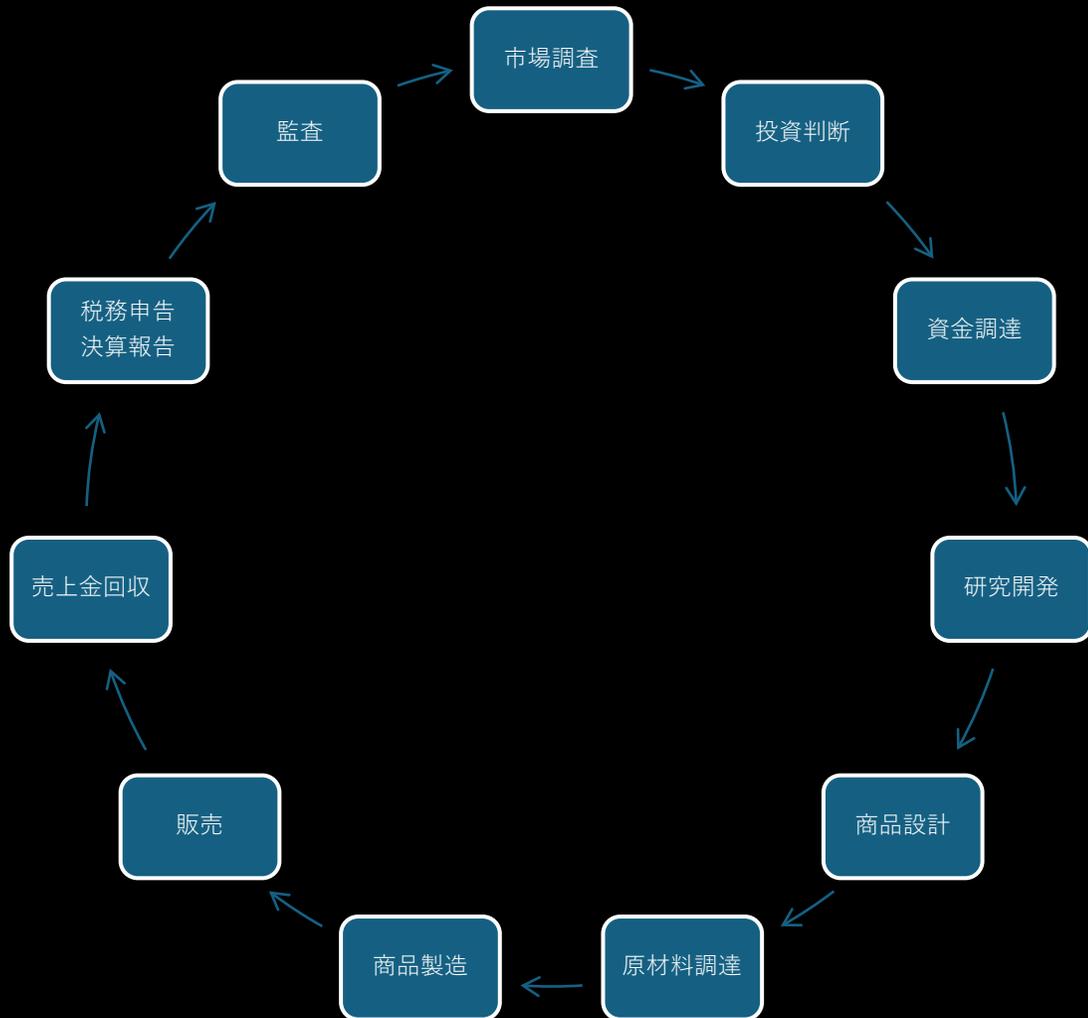
# 目次

1. マクロのリスクって何？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう
6. 今日のまとめ

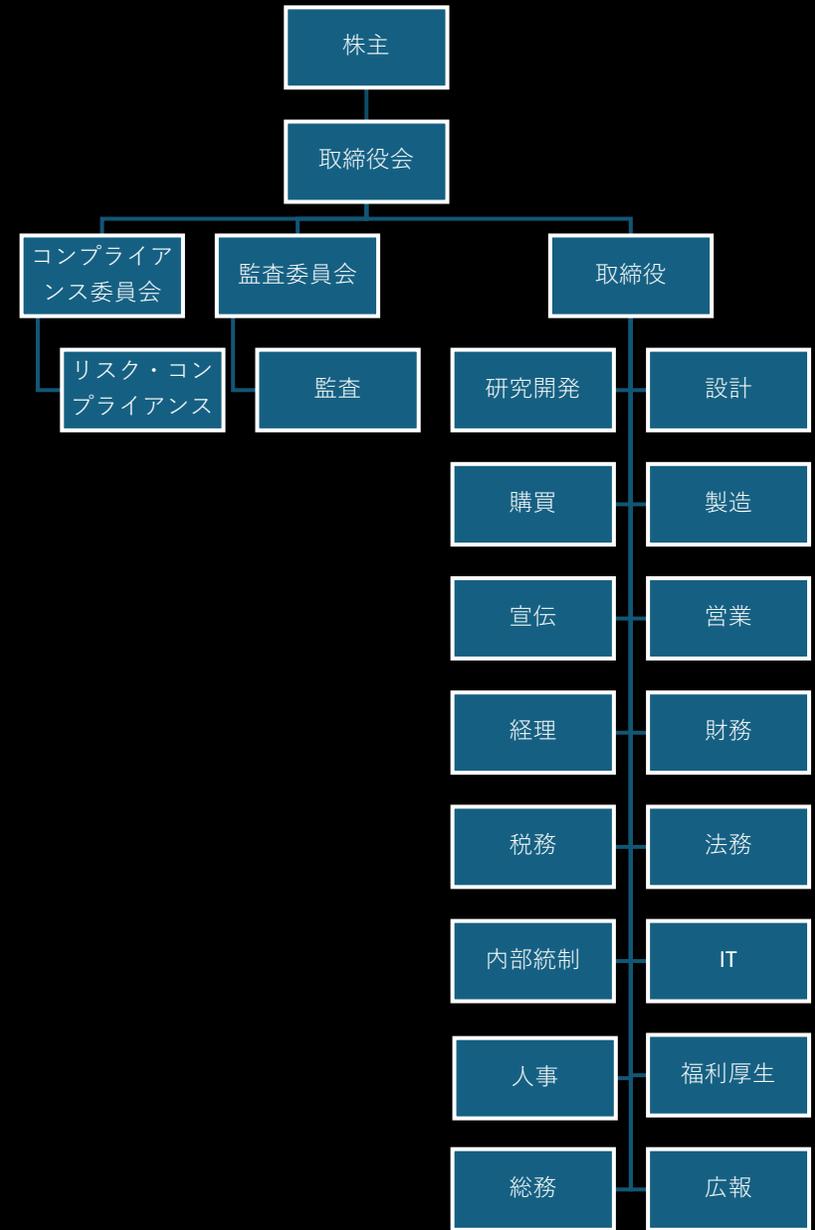
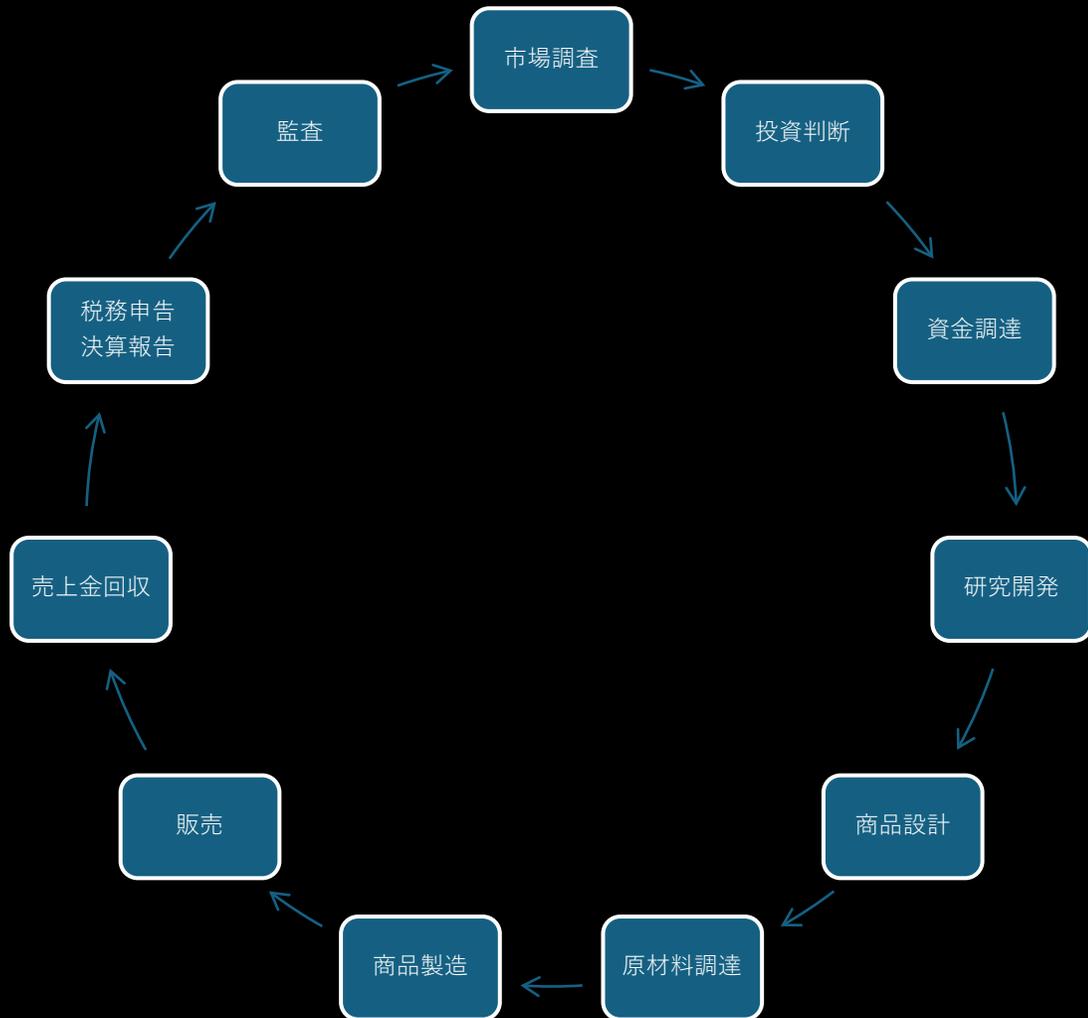
## 2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応

- 企業の活動や組織構成とリスクを見てみよう

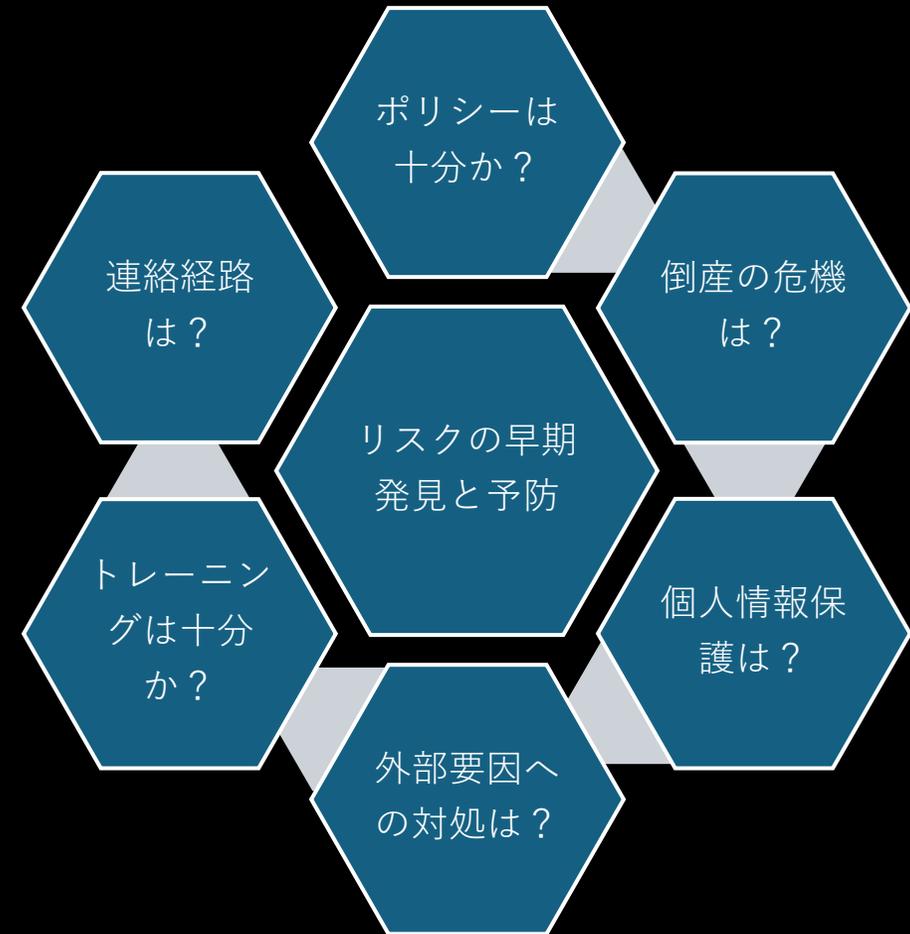
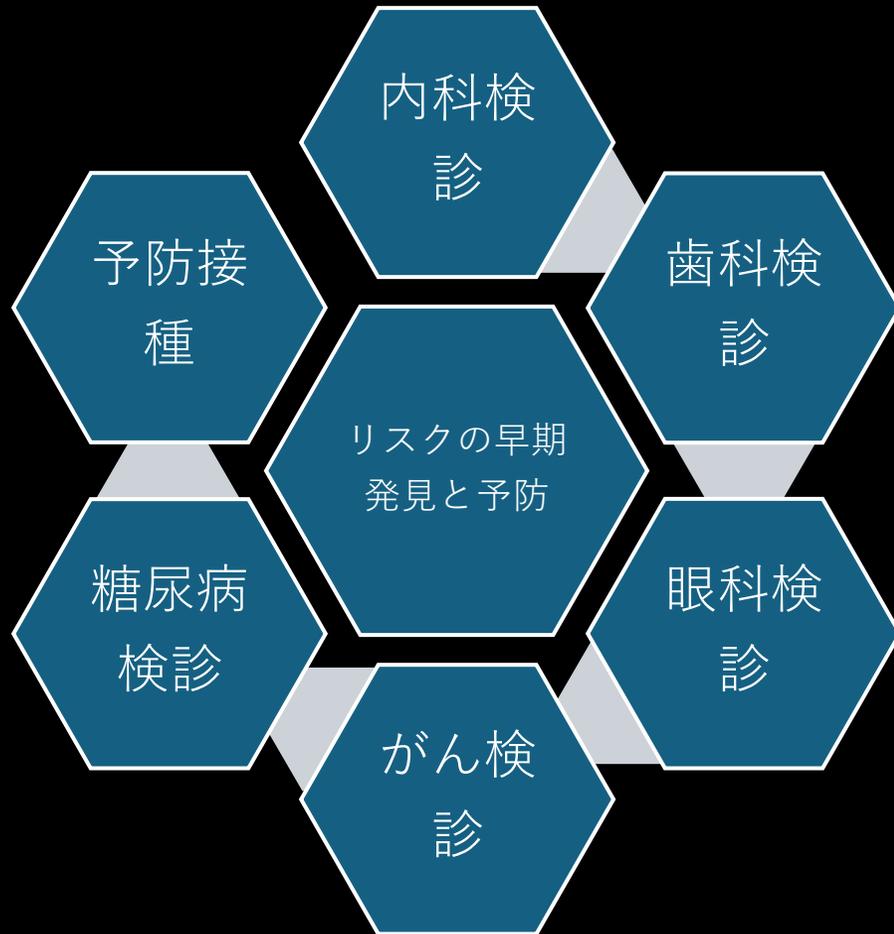
# 企業の活動と組織構成



# 企業の活動と組織構成



# リスク予防管理士：リスクの早期発見と予防



# 企業活動のリスク

企業活動	担当部署	リスク	原因	結果
市場調査	営業	不正確な需要予測	サンプリングエラー、調査不備・不足、採用情報の精度不足	不適切な商品設計、機会損失、株価低迷、倒産
方針決定	経営陣	経営施策の誤判断	情報の精度不足、恣意的な判断、自己中心的な判断	損失、株価低迷、評判の低下、信用失墜、訴訟、吸収合併、倒産
資金調達	財務	運転資金不足	インフレや信用度低下による借入金利の高騰	損失、業務停止、評判の低下、信用失墜、吸収合併、倒産
研究開発	開発	特許侵害	知的財産取り扱いの理解不足、不十分な情報収集	研究開発停止、反則金、訴訟
商品設計	設計	設計ミス	リコール、社員の意識・知識不足、市場調査不足	リコール、訴訟、信用失墜、吸収合併、倒産

# 企業活動のリスク

企業活動	担当部署	リスク	原因	結果
原材料調達	購買	原材料の品質問題、仕入れ元の倒産、高値取引、癒着、代替調達先の不備	仕入れ元の素性調査不足、一極集中	信用失墜、製品品質、損失、製造休止
商品製造	製造	歩留まり、品質のばらつき、事故、労働争議、在庫の価値減損	老朽化した設備、品質管理不足、労使の理解不足、低回転率	事故、損失、補償、製造休止、訴訟
販売	営業	取引の一方的な破棄、ダンピング、誤解を招く広告、輸出関連法違反、	顧客の素性調査不足、一極集中、関連法の意識・理解不足	損失、評判低下、反則金、制裁、倒産
売上金の回収	経理	売上金の回収困難・不可	顧客の夜逃げ・倒産、与信審査不備	損失、株価低迷、評判の低下、信用失墜、吸収合併、倒産

# 企業活動のリスク

企業活動	担当部署	リスク	原因	結果
決算報告	経理	粉飾決算（利益・損失の水増し、利益の平滑化・期ずれ）	不正行為、会計基準の誤解や理解不足、内部統制不備	決算・報告のやり直し、株主や社会からの信用喪失、訴追、株主代表訴訟、株式の上場廃止
税務申告	税務	脱税(*)、不適切な移転価格	不法行為、法令の理解不足、税理士による誤解・過失	税務調査、反則金、評判低下、信用失墜、訴追、訴訟
監査	経理	不適正意見、不適切な監査、癒着	内部統制の重大な不備、監査人による過失・理解不足、独立性の欠如	自社やグループ企業の監査リスク上昇、評判低下、信用失墜

(\*)脱税は税金の違法な回避。節税は税金の合法的な回避。

# 企業活動のリスク

企業活動	担当部署	リスク	原因	結果
契約行為、訴訟対処	法務	不適切な契約内容・訴訟対処・助言	法令の理解や訴訟の対応経験不足、担当弁護士の過失	損失、敗訴、補償、評判低下、倒産
雇用、解雇、業績評価	人事、各部署	不公平、癒着、自己の利益優先	不法行為、法令の理解不足、社内規定の不備	訴訟、評判低下
守衛、事務機器保全、オフィスのリース	総務	災害やテロへの対処不備、業者との癒着、自己の利益優先	非常時の計画不足、社内規定の不備、内部統制不備	損失、倒産
情報処理機器の導入・使用・維持	IT	情報漏洩、陳腐化、非効率、ハッキング、恐喝	社内規定の不備や理解・意識不足、環境変化・新技術への不適合	訴訟、損失、事業停止、倒産

# その他の企業活動のリスク

- 外的要因

- 災害
- テロ
- 買収や乗っ取り
- ハッキング
- 恐喝
- 不況（インフレ、デフレ）
- 顧客や仕入れ元の倒産

- 内的要因

- ポリシー違反
- 労働争議（ストライキ）
- 企業秘密や個人情報の漏洩
- 従業員による訴訟
- バイトテロ
- お家騒動
- 内部統制違反

# 企業のリスク管理

- 1) リスクの棚卸し・早期発見
- 2) リスクの影響の大きさを測る（リスクの評価）
- 3) 優先順位を決める
- 4) 持っているリソースで効率的にリスクを予防管理
- 5) 棚卸しの頻度を定める
- 6) 情報伝達経路の確認
- 7) 従業員へのリスクの伝達、啓蒙、対処の確認

リスクが見えないと最初の一步が踏み出せない

# 目次

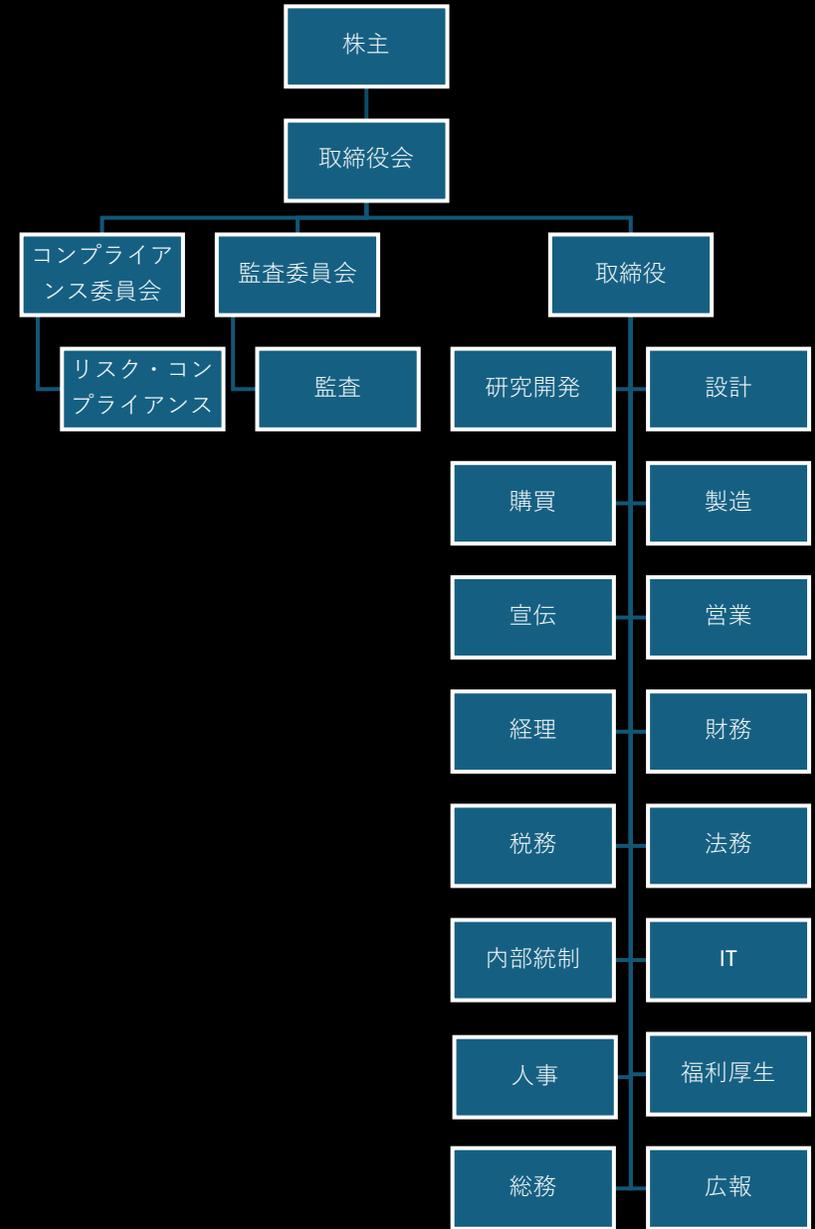
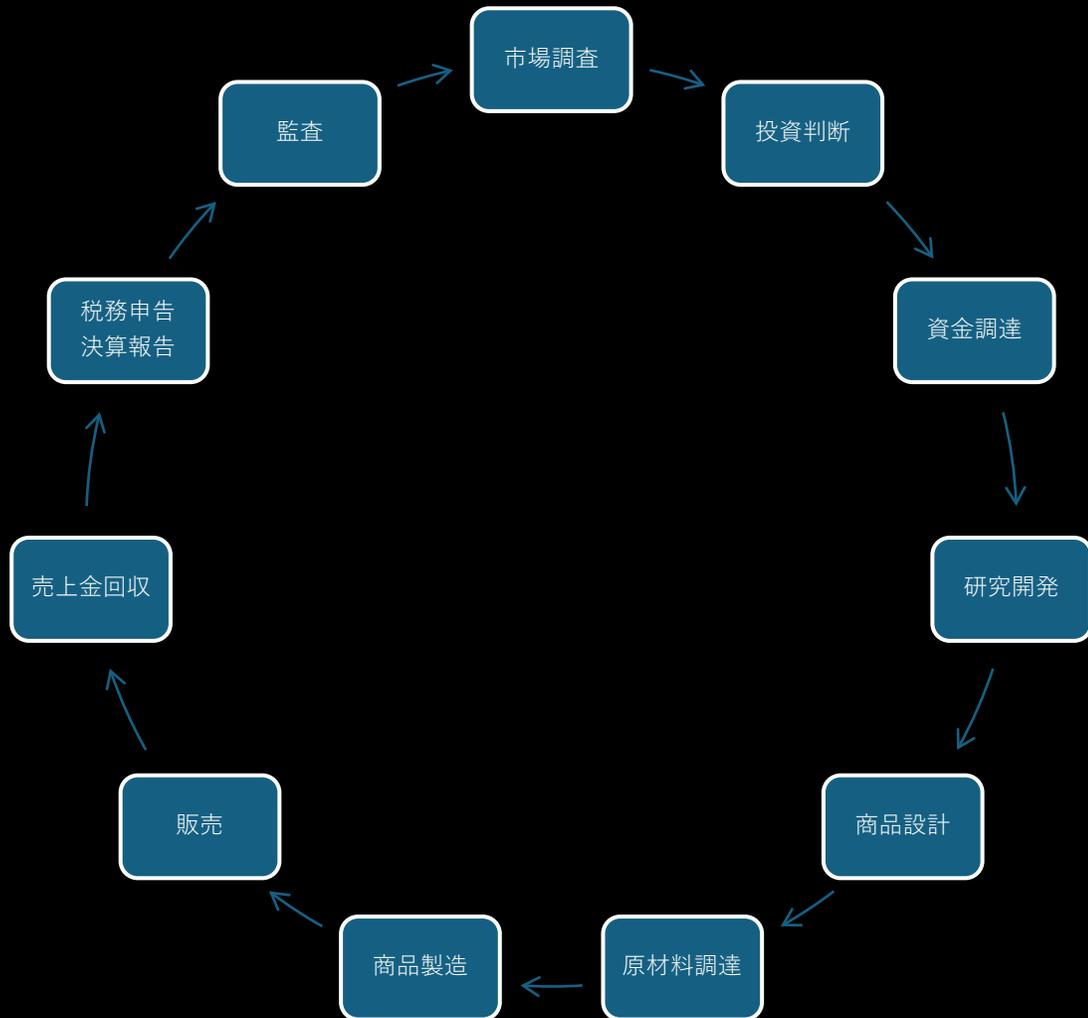
1. マクロのリスクって何？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう
6. 今日のまとめ

# 3. リスクが見えるようになるために

「リスクが見える」ようになるには？

- 営業活動と組織の仕組みを理解しよう
- 業界用語を覚えて感度を上げよう
- 新鮮な情報を集めよう
- 複数の得意分野を持とう
- 人とのつながり（ネットワーク）を大切にして、どんな部署でどのような仕事をしているのかを理解しよう

# 企業の活動と組織構成



# 企業のリスク管理

- 1) リスクの棚卸し・早期発見
- 2) リスクの影響の大きさを測る（リスクの評価）
- 3) 優先順位を決める
- 4) 持っているリソースで効率的にリスクを予防管理
- 5) 棚卸しの頻度を定める
- 6) 情報伝達経路の確認
- 7) 従業員へのリスクの伝達、啓蒙、対処の確認

従業員がリスクを理解し行動してくれないと終わらない

正論を述べれば納得し、行動してもらえるか？

いくら正論を述べても、相手が耳を傾け、理解し、行動し、その結果が確認できなければリスク管理の仕事は終わらない

相手に納得してもらえ、行動してもらえる「あてになる」リスク予防管理者になるにはどうするか

# 目次

1. マクロのリスクって何？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう
6. 今日のまとめ

# 4. 「あてになる」 リスク予防管理者になるために

- 知識：複数の得意分野を持って広く全体を見渡そう
- 知恵：情報を仕入れ、リスクを発見し、それを伝える（理解・納得・実行してもらえ）工夫をしよう
- 感情：感情知能（Emotional Intelligence、EI、EQ）を活用しよう
- 思いやり：相手を思いやる心をもって話してみよう
- 誠意：相手の目を見て話しをしよう

成功するコミュニケーションは掛け算：

知識 × 知恵 × 感情 × 思いやり × 誠意

あの人に尋ねてみよう、相談してみよう、と思ってもらえる人を目指しましょう

# 伝える工夫の例

小さな（ミクロ）のリスクを単発で管理するだけではなく、全体（マクロ）のリスクを洗い出し、影響を数値化（定量化）して優先順位を可視化し、限られた資源（リソース）を影響の大小にあわせて効率的に使用することで、全体（マクロ）のリスクを総合的に予防管理でき、「万一」が起きた時の不都合を小さくすることが可能になります。

# 伝える工夫の例

## 全体のリスク管理の要点

- 1) 全体のリスク棚卸
- 2) 影響の数値化で可視化
- 3) 優先順位付け
- 4) リソースの効率的な配分で全体のリスクに対処

# 目次

1. マクロのリスクって何？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう
6. 今日のまとめ

# 5. 個人のリスク管理：自身や家族をリスクから守ろう

- 幅広い知識は皆さんや御家族の生命、財産、収入、就業をリスクから守ります。
  - 自分は経営学部ではないので会計や決算の話はわからないけれど、就職予定のこの会社の経営状態は大丈夫かな？
  - 黒字でも資金不足で倒産するのはなぜ？
  - 内部統制って何だろう？

総合大学である中部大学では幅広い知識の吸収が可能です。

# 目次

1. マクロのリスクって何？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう
6. 今日のまとめ

## 6. 今日のまとめ

1. マクロのリスクって何？
2. 組織全体のリスク予防管理：企業の対応
3. リスクが見えるようになるために
4. 「あてになる」リスク予防管理者になるために
5. 個人のリスク予防管理：自身や家族をリスクから守ろう

Q & A

---

御参加、どうもありがとうございました。  
皆さんには無限の可能性が  
あります。  
目標に向かって進みましょう。  
今後の皆さんのご活躍を願っております。

濱淵明寿

連絡先：  
[ahamabuchi@hotmail.com](mailto:ahamabuchi@hotmail.com)

